日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（実技）	ウェイトトレーニング演習 Ⅰ	田島 伸悟	30時間（2単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標	
ウェイトトレーニングの基礎知識、正しい方法、効果を理解し、個々のトレーニングに生かせるようにする。	
講義概要	
ウェイトトレーニングの基礎知識及び指導法を習得させる。	
授業内容	
1	オリエンテーション（授業の進め方等）
2	ウェイトトレーニングとは
3	筋肉について
4	トレーニングマシーンの使用法、特徴、利点について
5	フリーウェイトの使用法、特徴、利点について
6	〃
7	筋収縮の種類
8	負荷の決め方
9	腕部 ウェイトトレーニング種目について
10	〃
11	〃　　1RM測定
12	肩部、胸部　ウェイトトレーニング種目について
13	〃
14	〃　　1RM測定
15	定期試験
成績評価	
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる	
授業の特徴・形式等	
実技（トレーニングセンター）を基本とし、講義も行う。 日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、実業団ラグビー部ヘッドトレーナー、パークハイアット東京ジムインストラクターとしての勤務経験を活かし、ウェイトトレーニングの方法を指導する。	

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	エンターテインメント論 Ⅰ	上原一太郎	30時間（2単位）
実務経験			
無			

授業の到達目標
エンターテインメントの基本的な概念を理解した上で、サービスマインドやホスピタリティーを活かしたエンターテイ　ンメント技術を身に付ける。
講義概要
エンターテインメントの基本的な概念及び効果的なエンターテインメントの在り方について学習

授業内容	
1	授業ガイダンス
2	エンターテインメントの概念1
3	エンターテインメントの概念2
4	エンターテインメントの概念3
5	メディアの概念1
6	メディアの概念2
7	メディアの概念3
8	インフォメーションの概念1
9	インフォメーションの概念2
10	インフォメーションの概念3
11	エンターテインメントスキルアップ1
12	エンターテインメントスキルアップ2
13	エンターテインメントスキルアップ3
14	まとめ
15	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる
授業の特徴・形式等
講義形式。グループディスカッションビデオ教材やロールプレイング形式も数多く取り入れている

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	ケアワーカー論 Ⅰ	平山 実	30時間（2単位）
実務経験			
無			

授業の到達目標
ケアワーカーの仕事やその意義を理解させ、将来この業種に就いた際に必要なスキルに繋がるよう、基礎理論を　涵養させる。
授業内容
ケアワーカーの仕事は、在宅や福祉施設などで、高齢者や障害者の身体介護や生活援助を行う。医療や看護など他の職種との連携や、精神面の支援と身体のケアも必要であるので、講義のみでなくケーススタディを通じ、の　知識や実践に関する考え方を身に付ける。
授業内容

1	介護とは何か、介護の基本理念
2	ケアワーカーの仕事
3	介護関連の法律
4	ケア論（ハイデガー、メイヤロフ、ルーベル等）
5	ケアワーカーの専門性
6	ケアワーカーと医療の関係
7	ケアワーカーとソーシャルワーカーの関係
8	日本の介護保険制度
9	海外の介護保険制度
10	介護保険制度と医療法の関連性
11	ケアワークの展開
12	心理的・精神的・社会的援助
13	社会的援助
14	ケアワーカーとケアマネジメントの関係
15	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる
授業の特徴・形式等
講義形式。ビデオ教材も使用。

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	コミュニケーション論 Ⅰ	倉野 絹子	30時間（2単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標
コミュニケーションの基本的な概念を理解し、効果的な方法を習得し、実践で活かせるようにする。
講義概要
コミュニケーションの応用として、サービス・マーケティングやホスピタリティー・マネジメントについて学習する。

授業内容	
1	授業ガイダンス
2	コミュニケーションの理論
3	話し上手になるための発声・発音
4	聞き手が正しく理解するための表現
5	話をするときの心構え
6	コミュニケーション効果を高める話し方①
7	コミュニケーション効果を高める話し方①
8	コミュニケーション効果を高める表現力①
9	コミュニケーション効果を高める表現力②
10	聞き上手になる①
11	聞き上手になる②
12	コミュニケーション事例①
13	コミュニケーション事例②
14	まとめ
15	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる
授業の特徴・形式等
講義形式。ビデオ教材やロールプレイング形式も数多く取り入れている 一般企業（株式会社イワイ；飲食業）での接客・営業経験を活かし、コミュニケーションの重要性や事例研究を通じてその方法を指導する。

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	スポーツ医学	千葉智久	30時間（2単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標
スポーツと医学の関係を熟知し、指導者やトレーナーとして従事する際に、適切な一次処置を行うことができる知　識を身に着けることを目標とする。
講義概要
運動・スポーツにおける内科的・外科的スポーツ障害を医学的見地から解説するとともに、その予防と対策、また、救急処置の講義を行う。

授業内容	
1	スポーツ医学について（健康と医学）
2	スポーツ選手の健康管理（1）
3	スポーツ選手の健康管理（2）
4	運動中のケガや病気（内科的な面から）
5	運動中のケガや病気（外科的な面から）
6	救急処置について（熱中症・貧血・一般外傷等）
7	障害と対策方法（内科的な面から）
8	障害と対策方法（精神的な面から）
9	内臓疾患と生活習慣病（肝・心・呼吸器・糖尿病・高脂血症・肥満）
10	AIDS・性病
11	腱・滑液包
12	野球肩・テニス肘・ランナーズニー
13	環境条件の変動に対する対応と馴化（特殊環境下での運動に対する身体の変化について）
14	まとめ
15	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる
授業の特徴・形式等
講義形式。ビデオ教材による説明を多く使用する。 永年高校の保健体育教員を務める傍ら、野球の指導者として従事した経験を活かし、スポーツと医学のかかわり　について指導する。

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	ビジネス教養Ⅰ	木元翔一	30時間（2単位）
実務経験			
無			

授業の到達目標	
社会人の基礎知識となるコミュニケーション、プレゼンテーション能力を向上させる。	
講義概要	
社会人としての常識（敬語表現や服装、冠婚葬祭等）などの基礎コミュニケーションから、即戦力としてビジネス　シーンで効果的な自己表現の仕方について、多くの事例をもとに学習する。	
授業内容	
1	授業ガイダンス
2	コミュニケーションの基本1－①
3	コミュニケーションの基本1－②
4	コミュニケーションの基本2－①
5	コミュニケーションの基本2－②
6	コミュニケーションとファシリテーター1
7	コミュニケーションとファシリテーター2
8	自分を知る1－①
9	自分を知る1－②
10	自分を知る2－①
11	自分を知る2－②
12	聞く技術1－①
13	聞く技術1－②
14	まとめ
15	定期試験
成績評価	
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる	
授業の特徴・形式等	
講義形式。ロールプレイング、プレゼンテーション、ビデオ教材も数多く取り入れている	

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	ビジネス教養Ⅱ	木元翔一	30時間（2単位）
実務経験			
無			

授業の到達目標
社会人の基礎知識となるコミュニケーション、プレゼンテーション能力を向上させる。
講義概要
社会人としての常識（敬語表現や服装、冠婚葬祭等）などの基礎コミュニケーションから、即戦力としてビジネス　シーンで効果的な自己表現の仕方について、多くの事例をもとに学習する。
授業内容

1	授業ガイダンス
2	聞く技術2－①
3	聞く技術2－②
4	伝える技術（プレゼンテーション基礎）1－①
5	伝える技術（プレゼンテーション基礎）1－②
6	伝える技術（プレゼンテーション基礎）1－③
7	伝える技術（プレゼンテーション基礎）2－①
8	伝える技術（プレゼンテーション基礎）2－②
9	伝える技術（プレゼンテーション基礎）2－③
10	伝える技術（プレゼンテーションステップアップ）1－①
11	伝える技術（プレゼンテーションステップアップ）1－②
12	伝える技術（プレゼンテーションステップアップ）2－①
13	伝える技術（プレゼンテーションステップアップ）2－②
14	まとめ
15	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる
授業の特徴・形式等
講義形式。ロールプレイング、プレゼンテーション、ビデオ教材も数多く取り入れている

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	ビジネス自己開発論Ⅰ	倉野 絹子	30時間（2単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標	
授業のねらい	自己開発をキャリア開発としてとらえ、自身のキャリアをデザインする能力を育成する

講義概要
自己開発をキャリア開発としてとらえ、自身のキャリアをデザインする能力を育成する

授業内容	
1	授業ガイダンス
2	自己の能力とは1
3	自己の能力とは2
4	自己の能力とは3
5	自己開発とキャリア開発の連動1
6	自己開発とキャリア開発の連動2
7	自己開発とキャリア開発の連動3
8	事業家型人材と管理型人材の違い1
9	事業家型人材と管理型人材の違い2
10	事業家型人材と管理型人材の違い3
11	能力・欲求・価値のバランス1
12	能力・欲求・価値のバランス2
13	能力・欲求・価値のバランス3
14	コミュニケーション学について3
15	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる

授業の特徴・形式等
講義形式。ビデオ教材やロールプレイング形式も数多く取り入れている 一般企業（株式会社イワイ；飲食業）での接客・営業経験を活かし、コミュニケーションの重要性や事例研　究を通じてその方法を指導する。

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年前期 2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	ホスピタリティー論 Ⅰ	平山 実	60時間（4単位）
実務経験			
無			

授業の到達目標	
ホスピタリティーの概念を理解し、それに基づくサービスの方法や顧客満足満足度を高める方法について起案、実　践できる知識を身に付ける。	
講義概要	
ホスピタリティーの概念を学び、その領域を日本やアジアなどそれぞれの文化などに広げ、その特徴を分析しつつ、ホスピタリティーのあり方に理解を深める	
授業内容	
1	授業ガイダンス ホスピタリティーとは
2	ホスピタリティーの構成要素
3	ホスピタリティーとサービス
4	顧客満足と相互満足
5	ホスピタリティースタンダード
6	ホスピタリティートレーニング
7	ホスピタリティーマインドの構成要素 1 挨拶・笑顔
8	ホスピタリティーマインドの構成要素 2 相手のニーズに応える
9	ホスピタリティーマインドの構成要素 3 相手の満足に対するやりがい
10	ホスピタリティーマインドの構成要素　4　相手の状況把握
11	ホスピタリティーマインドの構成要素 5 ポジティブな表現
12	ホスピタリティーマインドの構成要素　6　聞く力・相手の立場
13	ホスピタリティーマインドの構成要素 7 当たり前のことを当たり前に
14	ホスピタリティーマインドの構成要素 8 気付き
15	定期試験
16	1年次試験の総括 授業ガイダンス
17	ホスピタリティー向上のための3つのステップ
18	経営戦略としてのホスピタリティー1
19	経営戦略としてのホスピタリティー2
20	経営戦略としてのホスピタリティー3
21	日本のおもてなし文化 1
22	日本のおもてなし文化 2
23	日本のおもてなし文化 3
24	日本と海外のホスピタリティー比較 1　東アジア
25	日本と海外のホスピタリティー比較 2　東南アジア
26	日本と海外のホスピタリティー比較　3　ヨーロッパ1
27	日本と海外のホスピタリティー比較　4　ヨーロッパ2
28	日本と海外のホスピタリティー比較 5　北米
29	まとめ
30	定期試験
成績評価	
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる	
授業の特徴・形式等	
講義形式。グループディスカッションビデオ教材やロールプレイング形式も数多く取り入れている	

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年後期 2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	ホスピタリティー論Ⅱ	平山 実	60時間（4単位）
実務経験			
無			

授業の到達目標	
ホスピタリティーの概念を理解し、それに基づくサービスの方法や顧客満足満足度を高める方法について起案、実　践できる知識を身に付ける。	
講義概要	
ホスピタリティーの概念を学び、その領域を日本やアジアなどそれぞれの文化などに広げ、その特徴を分析しつつ、ホスピタリティーのあり方に理解を深める	
授業内容	
1	1年次試験の総括 授業ガイダンス
2	ホスピタリティー向上のための3つのステップ
3	ホスピタリティー事例研究 1 ホテル
4	ホスピタリティー事例研究 2 飲食業
5	ホスピタリティー事例研究 3 冠婚葬祭
6	ホスピタリティー事例研究 4 テーマパーク
7	ホスピタリティー事例研究 5 医療機関
8	ホスピタリティー事例研究 6　行政
9	ホスピタリティー事例研究 7　金融
10	ホスピタリティー事例研究 8　教育
11	ホスピタリティー事例研究 9　旅行
12	ホスピタリティー事例研究10 スポーツ
13	ホスピタリティー事例研究11　製造
14	まとめ
15	定期試験
16	1年次試験の総括、ガイダンス
17	ホスピタリティーとマーケティング1
18	ホスピタリティーとマーケティング2
19	ホスピタリティーとマーケティング3
20	ホスピタリティーと顧客満足
21	ホスピタリティーとリーダーシップ
22	ホスピタリティーと人的管理
23	ホスピタリティーとコミュニケーション
24	ホスピタリティーとプロトコール
25	ホスピタリティー産業の課題 1
26	ホスピタリティー産業の課題 2
27	ホスピタリティー人材の育成
28	ホスピタリティー業界の展望 1
29	ホスピタリティー業界の展望 2
30	定期試験
成績評価	
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる	
授業の特徴・形式等	
講義形式。グループディスカッションビデオ教材やロールプレイング形式も数多く取り入れている	

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	ライフプロモーション論 Ⅰ	山口 智之	30時間（2単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標
スポーツの生涯化についての理解や認識を高め、それに基づいたプロモーションの知識を身に着けるこ　とを目標とする。

講義概要
生涯スポーツと健康に資するスポーツを中心としたプロモーションの意義を理解し、そのスキルを身に着　ける。

授業内容	
1	授業ガイダンス
2	キャリアデザインという考え方1
3	キャリアデザインという考え方2
4	キャリアデザインという考え方3
5	ライフプランの中のキャリアデザイン1
6	ライフプランの中のキャリアデザイン2
7	ライフプランの中のキャリアデザイン3
8	スポーツと生活とのかかわり 幼少期
9	スポーツと生活とのかかわり 青年期
10	スポーツと生活とのかかわり 老齢期
11	スポーツ処方 幼少期
12	スポーツ処方 青年期
13	スポーツ処方 老齢期
14	まとめ
15	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる

授業の特徴・形式等
講義形式。ビデオ教材やロールプレイング形式も数多く取り入れている 公益財団法人日本幼少年体育協会において、幼児体育指導者検定、幼児体育健康教育講習会の運営を統括した経験を活かし、生涯スポーツの設計について指導する

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	運動生理学	本間一輝	30時間（2単位）
実務経験			
無			

授業の到達目標
運動生理学について理解を深めることを目標とする。
講義概要
運動と関連付けた生理学の説明から入り、科学的なからだづくりの方法を追求する。さまざまな身体の構成要素　のかかわりをより細かく説明する。
授業内容

1	運動生理学とは
2	身体の構造について
3	身体の構造と各系の働きについて
4	循環器について
5	呼吸器について
6	運動とエネルギー供給のメカニズム（1）
7	運動とエネルギー供給のメカニズム（2）
8	消化器について
9	内分泌系について
10	体温とは
11	骨と関節について
12	筋肉のしくみについて
13	骨格筋の種類
14	等張性・等尺性収縮について
15	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる
授業の特徴・形式等
講義形式。ビデオ教材も数多く取り入れている

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	救急処置法	中宿 晃	30時間（2単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標	
一次救命処置についての正しい知識とその方法を身に付けることを目標とする。	
講義概要	
スポーツの外傷に対して、救急処置がしっかり行われたか否かによって、その後のスポーツ復帰までの期　間が大きく左右されることから、正しい応急処置についての実技・講義を行う。	
授業内容	
1	救急処置についての基本知識の説明
2	スポーツ外傷時の救急処置①　　緊急時の対応（フローチャートにて説明）計画
3	スポーツ外傷時の救急処置②　（外傷の認知と評価・判断）
4	スポーツ外傷の救急処置③
5	スポーツ外傷の救急処置④
6	スポーツ外傷の救急処置⑤
7	三角巾の使い方①
8	三角巾の使い方②
9	内科的疾患における救急処置①
10	内科的疾患における救急処置②
11	内科的疾患における救急処置③
12	内科的疾患における救急処置④
13	アイシングについて①
14	アイシングについて②
15	定期試験
成績評価	
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる	
授業の特徴・形式等	
講義形式と人体模型やAED等の医療器具を使用した実技を併用。 永年高校の保健体育教員そしてバスケット指導者として従事した経験を活かし、救急処置の方法や概念　について指導する。	

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年後期 2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（実技）	高齢者運動指導演習	岩田 諭	60時間（4単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標
高齢者の立場に立って、高齢者のQOLの向上および維持を第一に考えられるようになる。同時に高齢者が要介護状態に陥ることがないよう、介護予防プログラムが実施できるようになる。
講義概要
高齢者の身体的特徴を知り、高齢者が安全かつ健康的な生活を送れるよう、運動処方及び運動指導の方法を学ぶ。

授業内容	
1	ガイダンス
2	介護予防に対する姿勢、目標
3	老年症候群について
4	介護保険の問題点と改正介護保険法
5	介護予防評価の重要性
6	介護予防評価実習 1
7	介護予防評価実習 2
8	介護予防評価実習 3
9	効果判定に用いる評価1
10	効果判定に用いる評価2
11	リスクマネジメント 1
12	リスクマネジメント 2
13	リスクマネジメント 3
14	まとめ
15	定期試験
16	ガイダンス
17	高齢者筋力向上トレーニング（理論）
18	高齢者筋力向上トレーニング（実技 1）
19	高齢者筋力向上トレーニング（実技 2）
20	高齢者筋力向上トレーニング（実技 3）
21	転倒予防プログラム（講義）
22	転倒予防プログラム（実技 1）
23	転倒予防プログラム（実技 2）
24	失禁予防プログラム（講義）
25	失禁予防プログラム（実技）
26	低栄養予防プログラム
27	認知症予防プログラム1
28	認知症予防プログラム2
29	まとめ
30	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる
授業の特徴・形式等
実技と講義を併用。 パーソナルトレーナー会社代表取締役であり、また日本高齢者運動機能向上研究会理事等の経験を活かし、高齢 者の運動指導方法について指導する。

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年後期 2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（実技）	障がい者運動指導演習	江口 秀幸	60時間（4単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標
障がい者に安全かつ効果的なスポーツ指導を行うスキルを身に付けることを目標とする。
講義概要
障がい者の身体的・精神的な特徴を知り、高齢者の健康に寄与できる運動処方及び指導スキルを学ぶ。

授業内容	
1	障がい者スポーツ指導者制度と指導者の役割
2	障がい者とスポーツの特徴
3	障がいの理解 1.身体障がい者（切断・脊損・脳性麻痺）①
4	障がいの理解 1.身体障がい者（切断・脊損・脳性麻痺）②
5	2.高齢障がい者（脳血管障がい・高次機能障がい）①
6	2.高齢障がい者（脳血管障がい・高次機能障がい）②
7	3.聴覚・言語障がい、視覚障がい その他障がい①
8	3.聴覚・言語障がい、視覚障がい その他障がい②
9	4.内部障がい①
10	4.内部障がい②
11	5.知的障がいと精神障がい①
12	5.知的障がいと精神障がい②
13	重度障がい者スポーツの実際
14	まとめ（安全管理）
15	定期試験
16	リハビリテーション概論①
17	リハビリテーション概論②
18	リハビリテーション概論③
19	全国障がい者スポーツ大会概論①
20	全国障がい者スポーツ大会概論②
21	競技規則とクラス分け、補装具について①
22	競技規則とクラス分け、補装具について②
23	パラリンピック夏季大会の実際①
24	パラリンピック夏季大会の実際②
25	パラリンピック冬季大会の実際①
26	パラリンピック冬季大会の実際②
27	重度障がい者スポーツの実際①
28	重度障がい者スポーツの実際②
29	まとめ
30	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる
授業の特徴・形式等
講義と実技を併用。 元財団法人日本障がい者スポーツ協会部長として、パラスポーツの普及に務めてきた経験を活かし、障　がい者に対するスポーツ指導の方法について指導する。

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（実技）	情報処理演習	渋井二三男	30時間（2単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標
ブラインドタッチを概ね修得する。 Wordの基本的な操作方法を習得する
講義概要
Windowsマシンを使用し、基本的な操作方法からアプリケーションソフトを使用した文書作成の基本を学ぶ。

授業内容	
1	デジタルの基礎
2	ガイダンス…パソコンの起動と終了、マウス操作
3	印刷の機能、加工方法
4	キーボードの基本、各キーの特徴と役割
5	タイプ練習①
6	タイプ練習②
7	Windowsの基本操作①
8	Windowsの基本操作②
9	パソコン内のファイル・フォルダについて
10	webブラウザ、サーチエンジン、電子メールなどのしくみ
11	文字の入力方法、書式変更方法
12	文書の編集①（文字の強調、置換）
13	文書の編集②（段落の処理、配置）
14	文書の編集③（図やファイルの挿入、描画）
15	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる
授業の特徴・形式等
実技形式。 工学博士の学歴を有し、大手電気メーカーやNTT電気通信研究所等での技術職勤務経験を活かし、コンピュータ　の基本操作を指導する。

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（実技）	情報処理技術Ⅰ	渋井二三男	30時間（2単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標

ブラインドタッチを概ね修得する。
Wordの基本的な操作方法を習得する

講義概要

Windowsマシンを使用し、Wordの基本的な操作方法から、ビジネス文書、プレゼンテーション文書作成の方法を学ぶ。

授業内容

1	Wordの基本操作…Wordの画面の仕組み
2	ホームタブ①
3	ホームタブ②
4	挿入タブ①
5	挿入タブ②
6	ページレイアウトタブ、差し込み文書タブ、表示タブ
7	ビジネス文書の作成…コピー・移動・文字体裁の設定
8	ビジネス文書の作成印刷…印刷機能の説明
9	表と罫線…表の編集・罫線種の変更と網掛け
10	履歴書を作る…自分の経歴を記入し、実際の履歴書を作る
11	表現力のある文書の作成…ワードアート・図形描画
12	企画書、稟議書の作成
13	プレゼンテーション資料の作成
14	検定模擬試験
15	定期試験

成績評価

履修条件：校則に準じた出席と提出物
成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる

授業の特徴・形式等

実技形式。
工学博士の学歴を有し、大手電気メーカーやNTT電気通信研究所等での技術職勤務経験を活かし、コンピュータ　の基本操作を指導する。

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	発育発達・老化論	中宿 晃	30時間（2単位）
実務経験			
有			

授業の到達目標

身体、運動能力、運動スキルの発育・発達・老化のプロセスを学習し、知識を身に付けることを目標とする。

人間は、その成長過程において様々な変化を見せる。この変化の課程を通して、人間の身体（骨、筋肉、内臓、等）、運動能力（有酸素性作業能力、無酸素性作業能力）、運動スキル（歩・走・跳・投）の発育・発達的なプロセスを学習し、習得する。加えて、成人以降の体力の変化、それに関係した遺伝的要因、老化についても理解を深めさせる。

授業内容

1	身体的発育発達・老化（解剖学的な発育発達・老化について）
2	生物体の構成・細胞
3	組織・器官と器官系
4	骨の構造・形状・成分の発育・発達
5	関節の構造・種類・運動
6	骨格・頭蓋・顎関節
7	脊柱・胸郭
8	上肢骨・下肢骨
9	第一次・第二次成長期の特徴
10	発育期に起こる障害および疾病について（1）
11	発育期に起こる障害および疾病について（2）
12	体力の発育・発達（有酸素性作業能力、無酸素性作業能力）
13	運動スキルの発育・発達（歩・走・跳・投）
14	成人以降の体力の変化について
15	定期試験

成績評価

履修条件：校則に準じた出席と提出物
成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる

授業の特徴・形式等

講義形式。ビデオ教材も数多く取り入れている
永年高校の保健体育教員そしてバスケット指導者として従事した経験を活かし、身体の発育発達老化の特徴について指導する。

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 （職業実践専門課程）	健康福祉科	2023年度	1年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目（講義）	福祉概論Ⅰ	平山 実	30時間（2単位）
実務経験			
無			

授業の到達目標
福祉の基本理念や仕事の内容、その現状や保証制度、諸問題等について学習し、知識や対処法を考える力を身　に付けることを目標とする。
講義概要
人間がよりよく生きるための、対人援助職としての福祉についてその使命や種類、在り方等について基本概念を　理解させるために、テキストだけでなく時事問題も取り上げながら、包括的な福祉に関する理解を深める。
授業内容

1	福祉とは何か、福祉の基本理念
2	福祉関連の法律
3	福祉の種類① 高齢者福祉
4	福祉の種類② 児童福祉
5	福祉の種類③　身体障がい者福祉、知的障がい者福祉
6	福祉の種類④ 母子福祉、寡婦福祉
7	福祉の種類⑤　精神保健、精神障がい者福祉
8	福祉と行政の関係
9	福祉と医療の関係
10	福祉と教育の関係
11	福祉と社会問題の関係
12	福祉制度とその利用状況
13	福祉に関する保証制度
14	福祉制度の現状と課題
15	定期試験

成績評価
履修条件：校則に準じた出席と提出物 成績評価：授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる
授業の特徴・形式等
講義形式。ビデオ教材も数多く取り入れる。